

内燃系部品の生産は先細り IoT推進で構造改革に着手

お客様工場では自動車の内燃系部品を生産していますが、今後の自動車のEV化による生産の先細りに対し、IoTを推進することによる生産コストの構造改革に着手することが決定しました。

お客様のプロフィール

会社名	従業員数
自動車部品製造工場様	約550人
業種	所在地
鋳鉄およびアルミ製鋳物製造	全国4工場

自動車

工場

導入前の課題

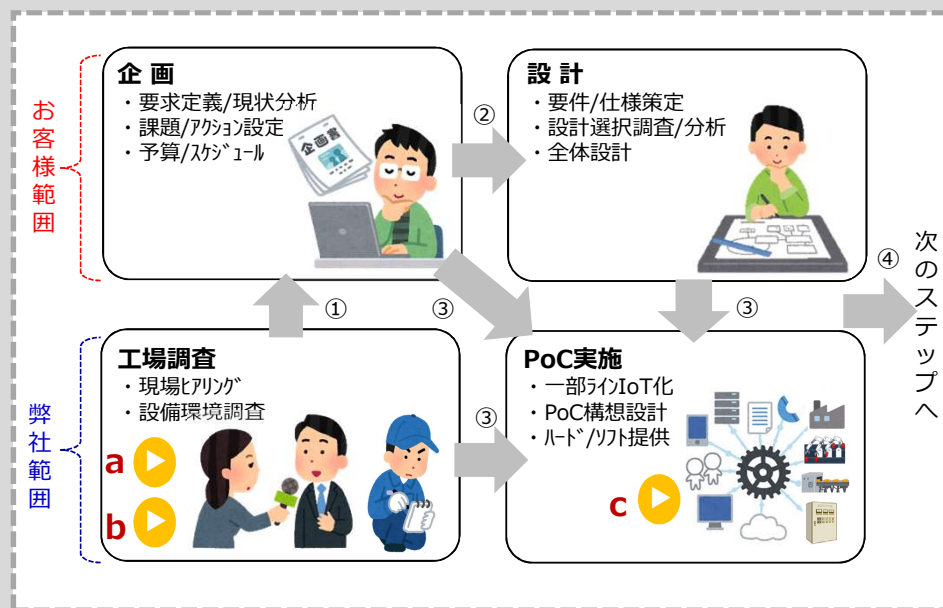
- IoT活用を模索するも推進方法がわからない
- 古いものを当たり前とする現場の文化感
- 外部依存により現場が設備のことを知らない

選んだ理由

- IoT導入支援ベンダーとしての実績
- 社員へのヒアリングを主体とした現状分析
- コンサル後のIoT導入もそのまま依頼できる

導入の効果

- 無いと考えていた生産のムダが発見できた
- IoT推進により改善点発見の実感が得られた
- 工場各職位からの協力姿勢が得られた



- お客様は無いと考えていた生産のムダを発見！
- お客様の経営層と現場ともに改革への意識が高まる！

ポイント

- a 工場各職位へのインタビューとその取り纏め
- b 各ライン/各設備の機器構成の整理、および、機種や年式などを基準にネットワークへの繋がり易さを分類
- c お客様システムとのデータ連携を素早く対応
結果を出し易い箇所でのPOC実施

導入費用・期間

- 工場調査 200万円
- POC実施 200万円
- 納期：約3カ月